

サポートに感謝！ 当院の活動を支える委託スタッフをご紹介します

プロの技術とプライドを持って安心・安全・清潔を実践。
【株式会社 JR 西日本メンテック】

業務内容

毎日の作業として病室清掃、退院清掃、医療廃棄物の運搬、リネン業務、滅菌消毒、内視鏡室におけるスコープ消毒、手術室清掃等。休日や早朝には床面の洗浄およびワックス塗布、外部のガラス清掃などを行うほか、感染予防のための血液や便、嘔吐物などの汚損の除去に関しては、その都度、現場に駆けつけて対応してくださっています。



株式会社 JR 西日本メンテック
大阪鉄道病院営業所
所長 渡部 学さん



私たちJR西日本メンテックは、従業員一同「安全最優先」で日々の業務を行っています。それに加え、病院業務を行う上で不可欠なことは「禁止事項」「厳守事項」および、「ホスピタルマナー」の理解と実行です。大阪鉄道病院営業所では、「患者さんに心地よい空間と安心の笑顔をご提供しよう!」をモットーに34名の従業員が1年365日、早朝から汗を流しています。特に病院清掃と滅菌に関しては、認定取得の必要性和高い向上心を醸成した社員が受託責任者・滅菌管理士の資格を取得し、医療関連サービスマーク振興会の認定をいただいています。さらに定期的な安全教育と勉強会などにより清掃および滅菌技術力の統一化に取り組むとともに、受託責任者、滅菌管理士およびビルクリーニング技士の資格取得も励行しています。



私自身は2019年7月に大阪鉄道病院営業所に着任しました。それまで培った電車の運転や鉄道の知識や経験が全く役に立たない状況のなかで、従業員や病院関係者のみなさんに支えられ、今では楽しく働かせていただいています。たいへんチームワークのよい、働きやすい環境に感謝しています。また、患者さんをはじめとするみなさんから「ありがとう」とお声がけいただくたびに、この仕事をしてよかったという喜びとやりがいを感じます。

これからも日々変化していく病院環境のなかで、病院の縁の下での力持ちとして、「全ては患者さんのために」という誇りとプライドを持ってさらなる品質と技術力の向上に取り組んでまいります。

ぽっぽニュース

ご報告

地域医療連携室が1階にお引越し。

今年4月、地域医療連携室をこれまでの3階バックヤードから1階の一室に移動しました。機能性、利便性を向上した環境で、さらなる業務・サービスの充実に努めてまいります。



“私達は人間性を尊重し、謙虚で誠実な医療を提供します”

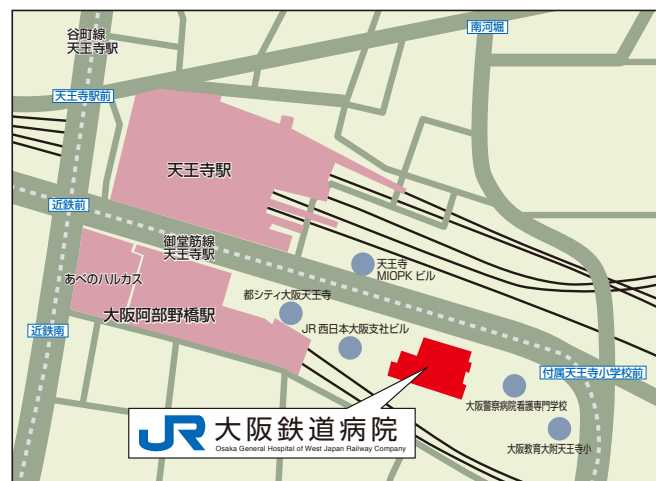
【基本方針】

安全で良質な医療を実践し、信頼される病院を目指します。
多機能型急性期病院としてチーム医療を推進し、継続的な医療を提供します。
地域に根ざした病院としての役割を認識し、住民の皆さんの健康増進に努めます。
地域医療機関との連携を重視し、きめ細かな医療に努めます。
専門性を追求し、医療レベルの向上と人材の育成に努めます。

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1丁目2-22
TEL.06-6628-2221 (代表) FAX.06-6628-2287 (代表)
地域医療連携室 FAX.06-6628-4707
ホームページ <http://www.jrosakahosp.jp>

受付時間／午前8時30分～午前11時00分 診療開始／午前9時00分～
休診日／土日祝・年末年始(12月30日～1月3日)



Vol.1
新装刊

診療科 UPDATE
消化器内科 部長 富岡秀夫
新入職特集
リハビリコラム
Radiation Station
登録医紹介
メディカルコラム／不眠症
サポートに感謝
ぽっぽニュース

ご挨拶

新緑が美しい季節、2020年の新年度を迎えました。地域の皆様には日頃から当院に、ご指導、ご支援を賜り誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。美しい緑とは裏腹に、今年は年明け早々から新型コロナウイルス感染症という想定外の事象が発生し、社会全体が大きなダメージを受けています。多くの重症患者と死者が出ており、緊急事態宣言は先日全国に拡大されました。当院はいわゆる帰国者接触者外来設置医療機関ではありませんが、今回の事象を受け通常診療に種々の制約を来たしてきております。各種医学会からの提言に沿った感染対策を行いつつ、診療体制の維持に今後ともできるだけ努めて参りたいと考えておりますが、皆様には時節柄ご理解の程よりしくお願い申し上げます。

さて、早いもので私も当院着任後6年目を迎えました。これまでの5年間、“地域医療連携の組織的強化”と“時代を見据えた病院機能の分化と最適化”を、病院改革計画の2大テーマとして、職員協働ワンチームで推進してまいりました。地域の皆様のご指導とご支援の下での代表的なこととして、前者におきましては2016年の阿倍野区医師会様を皮切りに、昨年末までに近隣5区(阿倍野・東住吉・平野・天王寺・生野)の医師会様と連携登録医制度を締結することができました。また、後者におきましては2017年に緩和ケア内科の新規標榜とともに19床全室個室の緩和ケア病棟を開棟いたしました。

新年度に入りましてからは、新しい中期改革計画策定の下、従来から当院の強みのひとつであります乳腺診療をさらに強化すべく、女性乳腺外科医の着任を契機に、乳腺外科を個別新規標榜致しました。また、地域の皆様とのパイプ役を担わせていただいております地域医療連携室を、医療相談支援部門と統合する形で1階奥の旧売店跡に拡大移設し、職員も増員いたしました。今後とも2025年、さらにその先の2040年を見据え、病院機能と診療体制の強化に努めて参る所存です。地域の皆様におかれましては、引き続き当院に対しますご指導、ご鞭撻、そしてご支援を、何卒よろしくお願い申し上げます。

※本年度から、当院がこれまで発行してまいりました2つの広報誌(患者様向け「メディカルぽっぽ」・医療関係者様向け「地域連携ぽっぽ」)を、「メディカルぽっぽ」として1本化し、お届けさせていただくことにいたしました。年6回の発行を予定しております。紙面の充実に努めてまいりますので、引き続きご笑覧いただき意見を賜れば幸いに存じます。

2020年(令和2年)4月
西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院
院長 上田 祐二

JR 大阪鉄道病院
Osaka General Hospital of West Japan Railway Company

消化器内科



上下消化管、肝・胆・膵、
各分野のエキスパートが
迅速・安心・安全な検査と
治療に全力を注いでいます。

部長 **富岡 秀夫**

専門分野／消化器全般、消化管、胆膵
資格／日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医・近畿支部評議員、日本消化器内視鏡学会専門医・近畿支部評議員、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、日本消化管学会胃腸科専門医・指導医

的確な診療を支える「人」と「技術」

当院の消化器内科では、胃や大腸を中心とした消化管から、肝臓、胆嚢、膵臓まで、消化器全般にわたる臓器のあらゆる疾患を診療の対象としています。当日の検査や処置など、臨機応変の判断力とスピーディな対応が求められることの多い現場ですが、それぞれの領域において高い専門性を備えた常勤医師8名と非常勤医師の充実したマンパワーで信頼にお応えしています。

近年では特に、内視鏡を使用した検査・治療が主となりました。当院では日本内視鏡学会認定の専門医を中心に看護師、診療放射線技師とともに、チーム一丸となった診療体制で診療に臨んでいます。

発展著しいがん治療

また、年々大きなウエイトを占めるようになってきた疾患が、がんです。大阪市南部地域においても、高齢者人口の増加に比例するようにがんの患者さんも増えています。しかし治療薬や技術の進化には目を見張るものがあります。最近では、85歳を超える方でも、抗がん剤や手術などの積極的治療を選択するケースが珍しくなくなってきました。これは数年前では考えられなかったことです。医療の進展に加えて、がんに立ち向かう体力気力を備えたご高齢者が多くなった実感があります。非常に心強いことです。ともにがんばらねばと決意を新たにしています。

医師として貫くべきこと

日々、診療を続けるなかで、私自身が肝に銘じているのは「間違ったことをしない」ということです。エビデンスを吟味し、患者さん一人ひとりと向き合いながら、培ってきた経験と知識をもとに常にガイドラインに沿った最良の治療法を選択していくこと。どんな疾患であっても、一人ひとりの大切な命をお預かりしているという自覚を持って、真摯に対処しています。もちろんこれは、当院の医師全員が持っている意識です。今後もよりよい医療を提供すべく知識技術を更新しつつ、患者さんおよび地域の先生方の信頼にお応えしてまいります。

STAFF

清水 誠治 統括副院長

専門分野／消化器全般 消化管（特に大腸）
資格／日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医・学会評議員、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・社団評議員、日本大腸肛門病学会専門医・指導医・評議員・邦文誌編集委員、日本大腸検査学会評議員、日本消化管学会胃腸科専門医・代議員

伊藤 正 検診担当部長

専門分野／消化器全般、肝臓
資格／日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・近畿支部評議員、日本消化器内視鏡学会専門医、日本肝臓学会専門医・指導医・西部会評議員、人間ドック健診情報管理指導士、労働衛生コンサルタント、日本プライマリケア連合学会認定医・代議員、日本臨床検査医学会 臨床検査管理医

内視鏡検査も苦痛なく

内視鏡検査は辛いもの、苦しいものというイメージをお持ちの患者さんも多いと思います。しかし、近年では鎮静下の内視鏡検査が普通となっています。当院では安全性への万全の配慮の上で、鎮静剤によって意識を落とし、寝ている間に検査をすることで痛みや苦痛を最小限にとどめることのできる鎮静下内視鏡検査を行っています。

※かかりつけ医の先生から地域医療連携室を通じてご予約ください。



DATA [2018年度] (件数)

	主要検査実績	退院患者さんの疾病内訳
上部消化管領域	上部内視鏡検査(食道・胃・十二指腸)(3,510) 上部内視鏡下生検(727)、内視鏡的胃ポリープ切除術(1) 内視鏡的胃粘膜切除術(18)、内視鏡的胃粘膜下層剥離術(4) 上部内視鏡的腫瘍焼灼術(4)、ピロリ菌検査(115) 内視鏡的上部消化管止血術(24)、内視鏡的胃・十二指腸狭窄拡張術(13) 異物除去(2)、PEG造設(2)、超音波(2)	胃の悪性腫瘍(28) 食道、胃、十二指腸、他腸の炎症 (その他良性疾患)(19)
下部消化管領域	下部内視鏡検査(大腸)(1,722)、下部内視鏡下生検(300) 内視鏡的大腸ポリープ切除術(227)、内視鏡的大腸粘膜切除術(237) 内視鏡的大腸粘膜下層剥離術(2)、内視鏡の下部消化管止血術(29)	小腸・大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)(355) 結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍(20) 穿孔または腫瘍を伴わない憩室性疾患(20) ヘルニアの記載のない腸閉塞(18)
胆膵領域	内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)(116) 内視鏡的乳頭切開術(EST)(34) 内視鏡的胆道結石砕石術・結石除去術(37)、内視鏡的胆道ドレナージ(47) 内視鏡的乳頭バルーン拡張術(14)、経皮的胆管ドレナージ(3)	胆管(肝内外)結石、胆管炎(81) 膵臓、脾臓の腫瘍(23)
肝臓領域	肝臓生検(13)、肝腫瘍生検(8)、経費的エタノール注入療法(PEIT)(3) 経皮的ラジオ波焼灼術(2cm以内)(21) 経皮的ラジオ波焼灼術(2cmを超える)(27)、経皮的肝腫瘍ドレナージ(6)	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)(124) 肝硬変(胆汁性肝硬変を含む)(22) 慢性C型肝炎(17)
他領域	腹部エコー(3,633)、腹部エコー(当院人間ドック患者)(1,533) 造影腹部エコー(15)、腹部エコー(パルスドプラ法)(6)	

高島 英隆 副部長

専門分野／消化器全般、肝臓
資格／日本内科学会認定内科医・指導医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本肝臓学会肝臓専門医・指導医

横溝 千尋 副部長

専門分野／消化器全般、肝臓
資格／日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本肝臓学会肝臓専門医

上島 浩一 医長

専門分野／消化器全般
資格／日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本循環器学会循環器専門医

小木曾 聖 医長

専門分野／消化器全般
資格／日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医・近畿支部評議員

池田 京平 医長

専門分野／消化器全般
資格／日本内科学会認定内科医

大阪鉄道病院の新しい「顔」が揃いました。

本年度も、4月より赴任した医師と研修医を迎えました。すでに、それぞれの科の頼れる新戦力として、活躍を始めています。なにとぞよろしくお願いいたします。

<呼吸器内科>

医師 高木 康裕

この4月より呼吸器内科で勤務させていただくことになりました。患者のみなさんのお力になれるよう努力します。どうぞよろしくお願いいたします。

レジデント 稲津 さつき

患者さんやご家族の方に寄り添う医療をすることを忘れず日々精進してまいります。みなさんのお役に立てようがんばりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

<循環器内科>

レジデント 井上 雅巨

若輩者ですが、患者さんに寄り添った丁寧な医療を提供できるようにがんばります。よろしくお願いします。

<血液内科>

レジデント 谷澤 直

患者さんが満足できるような医療を提供したいと考えています。日々精進いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

<糖尿病・代謝内科>

レジデント 鷺見 まどか

まだまだ未熟で至らない点も多くご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、患者さんのお力になれるよう精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

<神経内科>

レジデント 諸岡 千暁

患者さんの病気だけでなく、生活もサポートできる神経内科医を目指して勉強中です。精一杯がんばってまいりますのでよろしくお願いいたします。

<放射線科>

医長 三和 大悟

専門分野 画像診断
資格 放射線診断専門医

画像診断を中心に患者さんや先生方のお役に立てよう尽力します。どうぞよろしくお願いいたします。

<乳腺外科>

医長 小林 澄

研修医時代を過ごした病院でまた働かせていただけることをとても嬉しく思っています。乳腺外科医として、女性として患者さんに寄り添った医療を心がけていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

<眼 科>

レジデント 櫛谷 香菜子

若輩者ですが、患者のみなさんのお役に立てるように尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

<婦人科>

医長 小西 博巳

専門分野 腹腔鏡手術、不妊治療
資格 産婦人科専門医、
婦人科内視鏡技術認定医、
スポーツドクター、抗加齢医学会専門医

日頃の診療で心がけていることは、一人ひとりに真摯に向き合うことです。少しでも地域の医療へ貢献できるよう日々精進します。よろしくお願いいたします。

<耳鼻咽喉科>

医長 鈴木 倫雄

専門分野 鼻・副鼻腔、アレルギー性鼻炎、
甲状腺腫瘍、耳鼻咽喉科一般
資格 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医

これまでに、鼻・副鼻腔専門外来やアレルギー外来など、鼻の分野を中心に専門的治療を行ってきました。発展著しい内視鏡下副鼻腔手術では新しい技術を取り入れながら、安全かつ確実な手術を心がけています。また、頭頸部癌専門施設でも甲状腺手術・専門外来などにたずさわって、診療を行ってきました。この経験を活かし、患者さんのニーズに沿った治療を提供していきたいと考えております。

レジデント 鈴木英佑

将来は鼻を専門にしていきたいと思っています。これまでの耳鼻咽喉科とはガラッと雰囲気が変わりますが、手術加療に積極的に取り組んでまいります。まだまだ修練中の身ですが、なにとぞよろしくお願いいたします。

<整形外科>

医長 高橋 信太郎

専門分野 整形外科一般、関節外科
資格 日本整形外科学会専門医
日本人工関節学会認定医

専門分野は膝・股関節です。患者さんの痛みの軽減に、少しでもお力になればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

レジデント 植野 修平

整形外科は運動器(骨、関節、筋肉、末梢神経など)の疾患を扱います。また骨折、切創などの外傷についても診療を行っております。地域のニーズに沿った診療に少しでも協力できるよう心がけております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

レジデント 橘 拓也

まだまだ若輩者ですが、患者さんのお力になれるよう全力でがんばっていきたくと思っています。よろしくお願いいたします。

<研修医(初期研修医)>

塚原 麻里奈

小中高と附属天王寺出身で、ケガをするたびに診ていただいていたこの鉄道病院で初期研修生医として働けることに幸せを感じています。一生懸命がんばりたいと思っていますのでどうぞよろしくお願いいたします。

本田 桃子

2年間、研修医として働かせていただきます。ポジティブにがんばります。患者さんとのコミュニケーションを大事にしていきたいです。よろしくお願いいたします。

鎌田 千聖

広島大学出身です。医師としても社会人としても1年目で至らない所も多々あると思いますが、地元大阪の医療に貢献できるよう微力ではありますが、精一杯がんばります。よろしくお願いいたします。

松本 大介

豊中市の出身です。各科の知識や手技等、ひとつでも多くの経験を持って帰りたいと思います。何か手伝えることがあれば、ぜひお声がけ下さい。よろしくお願いいたします。

言語聴覚士
Speech-Therapist [ST]
ことばと食事の
プロフェッショナルです。

今回は言語聴覚士について説明させていただきます。
「言語聴覚士」は、さまざまな疾患によってことばによるコミュニケーションに問題が起きた方に対して、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下の問題にも専門的に対応します。原因となる疾患は、肺炎や脳卒中、咽頭がん、認知症などさまざまです。

言語聴覚士が行う訓練や活動の一部をご紹介します。



言語訓練

写真のように、絵などを用いてことばの理解や表出機能の向上を図ります。



嚥下訓練

嚥下（飲み込み）機能の向上を図ります。



摂食嚥下サポートチーム

医師・看護師とともに嚥下機能の評価や食事形態の工夫、食べ方の指導などを行い、おいしく安全に食事ができるようにチーム一丸となって取り組んでいます。

＜次回からの当コーナーは運動療法を特集します。※当院では外来リハビリは受け付けていません＞

Radiation Station

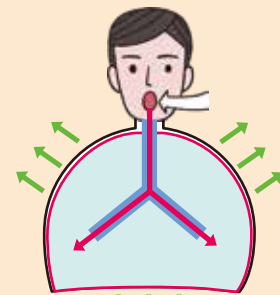
放射線部門

胸部レントゲン撮影で私たちが行っていること

放射線部門で行う検査のなかでも、一般の方々にも一番なじみの深い胸部レントゲン撮影（X線撮影）。今回は撮影時にご協力していただく意味を、わかりやすく解説します。

「息を吸って止める理由」

息を吸った状態



息を吸おうとすると、胸腔内が広がる。

肺に空気が入り、組織を広げて写すことができます。

※ 胸腔 肋骨・胸椎・胸骨・横隔膜に囲まれた空間

息を吐いた状態



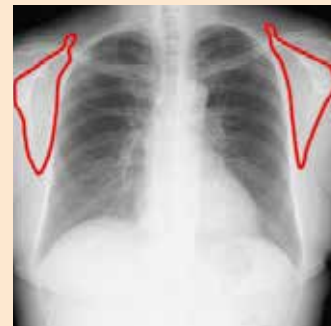
息を吐こうとすると、胸腔内が縮む。

肺も空気を出しながら縮むため、細かく写せません。

「肩を前に出す理由」



肺組織の観察の障害にならないよう、肩甲骨をグッと押さえていただき肩を前に出します。肩の力を抜いてください。



肩甲骨が外側に逃げ、肺野がより鮮明に観察できます。

患者さんに
知っていただくと、
検査がスムーズになり
助かります！



登録医紹介

山田医院

標榜科：外科・内科・小児外科
住所：〒545-0023 大阪府大阪市阿倍野区王子町2-12-14
電話番号：06-6623-3166
アクセス：阪堺電車「東天下茶屋」より徒歩2分
地下鉄御堂筋線「昭和町」より徒歩7分
<https://www.yamadaiin.net>



外観



院長 山田宏先生

— これまでの経歴をお聞かせください。

1991年に徳島大学医学部を卒業し、大阪府立病院（現大阪府急性期総合医療センター）でローテーション研修後に市立吹田市民病院外科勤務、大阪大学医学部第2外科研究生（病理）を経て1997年1月から父である故山田良平より現在の医療法人山田医院を継承しています。

— 御院についてお聞かせください。

当院は、外科、内科、小児外科を標榜しています。外科系については外傷の処置程度で、お子さんから高齢者までいらっしゃる患者さんのほとんどが内科的疾患への対応になっています。特に近年では、患者さんと実に濃い人間関係を持つことができるがん末期の在宅医療にも誠意をもって取り組んでいます。しかし自慢できることといえば院内誌である『山田医院だより』を242か月継続中であることくらいでしょうか（笑）。

— 大阪鉄道病院へのメッセージをお願いいたします。

父が大阪鉄道病院外科の元院長の田中承男先生に大腸がんの手術をしていただきました。自宅で私が看取りましたが、わざわざ死亡診断書を記載して持ってきてくださいました。旧病院はなんとなくこじんまりとしてアットホームなイメージがありましたが、今は先端を行く身近な病院として困ったときには親切に対応していただき感謝しております。

趣味はランニングと
水泳、スノーボード、そして
歴史関連の読書と
各地のマンホール撮影です。
大学では水泳部に
入っていました！

×ディカルコラム

「不眠症について」

精神神経科 部長 江村 成就

春から夏へと季節が変わるこれからの季節、気温や環境の変化が、以下のような不眠の症状につながる可能性があります。

入眠困難

床についてもなかなか眠れない。
(30分～1時間以上)

中途覚醒

夜中に何度も目が覚める。

早朝覚醒

早すぎる時間に目が覚め、
その後眠れない。

熟眠障害

眠りが浅く、睡眠時間のわりに
熟睡した実感が無い。

おそらくこれらは、多くの人が体験したことがある症状ではないでしょうか。こういったことが長期（1か月以上）にわたり続き、日中の行動に支障が出たり心身に不調が現れたりすると、「不眠症」と診断されます。

不眠を長引かせる要因は人によってさまざまで、ひとくりに語ることではできません。しかし多くの場合、眠りたいのに眠れないこと自体の不安やあせり、いわゆる「不眠恐怖」が、症状をさらに悪化させてしまうことがわかっています。ここで心に留めておきたいのは、睡眠は大切ではありますが、多少眠れない日があっても直ちに健康を害する心配はないということです。毎日熟睡感のある眠りがとれ、すっきり目覚められれば理想的ですが、睡眠の時間や質にこだわりすぎるあまり、ストレスが増大するほうがよほどリスクとなります。また、健康な人でも加齢とともに中途覚醒や早期覚醒が増えていく傾向もあります。若い頃と比較して「昔はもっと眠れたのに」と不安に思ったり落ち込んだりするのは禁物です。思うように眠れなくても大丈夫と気楽に構えて、眠れなければだんだん横になっているのではなく、

いったん寝床をはなれて軽い読書や音楽を聞いたりするなど、自分なりのリラックス法を実践し、眠気を感じてから再度床に就くようにしましょう。お部屋を少し涼しくするなど温度や湿度を調整することで、よい眠りに繋がる事もあります。

また、昼食後から15時までの時間帯の30分未満の昼寝は、日中の眠気を解消し、その後の時間をすっきりと過ごすのに役立ちます。もちろん、気になるときは躊躇せずに私たち専門医の診療を受けてください。当院では専門的な診断のもとで、副作用が少なく安心してご使用いただける睡眠薬の処方や、症状に応じた治療法を提案させていただきます。

